

令和3年度 中部地区子ども支援 net アンケート まとめ

令和3年10月15日（金）

ZOOMによるオンライン

回答者：14名

1. 本日のこども支援 net について、ご意見・ご質問等をお聞かせください。

① ミニ研修「発達年齢と子どもの育ち-年齢に応じた支援」について

- ・9-10歳の壁について、当てはまる子どもが思い出された。
- ・それぞれの課題に対して、発達のでこぼこや発達段階の振り返りの大切さを改めて感じることができた。たくさんの経験や体験を家庭だけではなく、サービスを使って拡大し、子どもさんの成長のお手伝いが出来たらと思う。
- ・発達段階の学びになった。再度、学習できて良かった。
- ・子どもの発達段階を学ぶことで、発達に合わせた支援の参考になった。
- ・今、起こっている困り事を支援していくには、その困りごとの原因や発達の道筋を振り返ってみるものの大切さを改めて学ぶことができた。

とができた。

- ・そだちサポート研修会では、足早に聴いたため、今日はゆっくり聴けて良かった。
- ・今村先生たちの話は、私たち療育の考え方と似ていて、安心して聴くことができる。
- ・資料も、お話も分かりやすい。やはり、遊びの中から、すべての支援に繋がっているなと実感した。
- ・生まれてから、幼児期、児童期までに発達していく過程は、積み重ねという土台が大切なことを改めて学ぶことができた。

・「できている」「できていない」という部分だけに着目するのではなく、その子が今、どの発達段階のどの位置にいるのか、というところを支援者側がしっかりと理解し、支援を行っていくようにしたいと思う。

- ・今回の研修では、子どもの発達の進み方や年齢、発達に応じた接し方を学ぶことができた。
- ・就学前の塾通いや、書くことだけを練習させるより、年齢にあった、認知学習を進めることが望ましいことも知れて良かった。
- ・発達段階をしっかりと理解した上で、子どもを見ていくことは重要で、それを再確認させてもらった。
- ・資料がとても見やすかった。（3）
- ・とても分かりやすかった（4）

② グループワークについて

- ・地域の事業所等の困りごとの実態を知ることができて良かった。
- ・普段の不安も気軽に相談できる様子が良かった。（テーマについて話せたかは微妙）
- ・いろんな職種の方のお話をきくことができて良かった。
- ・「顔が見える連携」のための協議ができ、とても良かった。
- ・課題の共有や、現在、支援での困り感に対し、アドバイスもいただけたのはよかった。
- ・違う機関の方々の現状を聞き、改めて連携の大切さを知ることができた。「事業所の定員の問題」や「各関係機関や保護者との意見の共有の難しさ」など、それぞれが同じような課題を抱えている事を痛感した。

- ・地域特性については、以前から同じような課題が話題になる。土日、祭日の日中一次支援や短期入所など、行政が途中退出したため、行政としての意見は聞くことができなかったが、事業所だけでは、解決できない問題かなと感じた。
- ・多職種連携について、瀬戸内町では、医療、教育、福祉の良い関係性が支援にもつながっており、良いところだと感じている。
- ・より良い関係を行っていくためにも、それぞれの機関がやっている事、やれることを把握した上で、役割を分担し、進めていくことが大切だと再認識できた。
- ・今回、オンライン開催であったが、スムーズに話も進み、各機関の感じている課題等について、意見や共有ができたのは良かった。
- ・とても勉強になる意見が聞けて良かった。
- ・小グループで情報交換を行うことで、中学校から高校に進学する生徒や思春期の子供たちの受け皿となる機関を知ることが出来た。
- ・意見が出るまでに時間がかかったため、後半、時間が足りなかった。（困っている事に関しては、解消できた。）
- ・グループワークの時間がもっと欲しかったです。
- ・家族支援について、他の参加者にもっと話を聞きたかった。
- ・「連携」という、ざっくりしたテーマだったので、話のスタートがやや戸惑った。
- ・協議のテーマが大きく、最初は、何を発言したらいいのか迷った。保育所や学校関係者が出席していたら、もっと深い話ができたかと思った。

③ 運営等について

- ・グループワークの時間が短く感じた。（足りないくらいがちょうどいいのかもしれないが）
- ・参加しやすい環境にさせていただき、とても良かった。
- ・ZOOMでのグループワークは、初めてだったが、良かった。
- ・ファシリテーターも、事前に資料があったので、分かりやすく、ありがたかった。
- ・開催時期は、良いと思う。
- ・会もとどまることなく、スムーズに行えたので良かった。
- ・全体から、小グループに分かれるのもスムーズで、ZOOMを使用した運営面でとても勉強になった。

2. その他

① あなたが感じている、地域の「障がい児への支援・制度等」の課題や改善してほしいことなど

- ・長期休みの宿題について
- ・瀬戸内町での受け入れ体制としては、需要が少なく、希望通りのサービス量は確保できている。しかしながら、職員の確保が大変なようで、利用者の保護者が職員として働いているケースも数件あり、学校側からも他保護者からも、様々な意見が聞かれる。（しかし、職員がいなければ、支援が成り立たないという現状も実際にある）
- ・GWの中で、学校と連携しづらいという意見があり、スムーズに連携するためには、どうしたらいいのか、考えさせられた。

- ・「就学前に検査結果がないと、特別支援学級に入れない」という状況の改善ができればいいなと思った。
- ・本日参加された、機関や事業所の連絡先（電話やメール）が載った一覧表を配布し、「困ったときはいつでも、相談、連携」というような一言が入っていると、すぐに連絡をとれるように思う。
- ・支援事業所と学校関係の連携がもっと、密になればいいなと思う。
- ・早期介入、理解の難しい家族へのアプローチ

② 今後開催してほしい研修等、知りたい情報など

- ・家族支援について
- ・“食”や“栄養”について学んでみたい。（偏食の改善や学校給食で対応できる範囲など参考までに）
- ・学校での LD の方への対応⇒地域や学校ごとでかなり違うと思う。
- ・グループワークしたい。
- ・困ったときの相談窓口（話を聞いておわりではなく、次につながる支援）

③ その他（ご意見・ご感想）

- ・「親子教室」などの日程表を送ってもらったらありがたい。
- ・障害児支援事業所と、幼稚園や学校との連携が、取りづらいという話が出た。他の地区の支援 net では、保育所や学童の方の参加もあり、共有できる部分も多かったと思うので、南部開催の時は、教育関係や保育所関係にも参加してほしいと思った。
- ・とても良い機会になった。
- ・今年度、療育センターから奄美に赴いて話を聞くことができていない。コロナが落ち着いたら、12 月の子ども部会には、ぜひ現地で参加し、部会参加後は関係機関の見学や、情報収集させていただきたいと考えている。

3. あなたのことをお聞かせください。

- ・児発管 1～3 年（2）
- ・児発管 10 年以上
- ・相談支援専門員 1～3 年（2）
- ・保健師 7～9 年
- ・保健師 1～3 年
- ・保健師 10 年以上
- ・言語聴覚士 10 年以上
- ・保育士 10 年以上
- ・行政（事務）1～3 年
- ・精神保健福祉士 10 年以上（2）
- ・行政（専門員）10 年以上